

---

● 訂正とお詫び ●

本誌，第7巻第1号(2020年1月発行)の下記箇所に誤りがありました。下記のとおり訂正し，心よりお詫び致します。

【消化器・肝臓内科】編集部

・ p. 24 本文 右段7行目～8行目

(誤) そして不利益が利益を上回ることが明らかとなれば，対策型検診でも鎮静の使用が検討されるようになるであろう。

(正) そして利益が不利益を上回ることが明らかとなれば，対策型検診でも鎮静の使用が検討されるようになるであろう。

---